

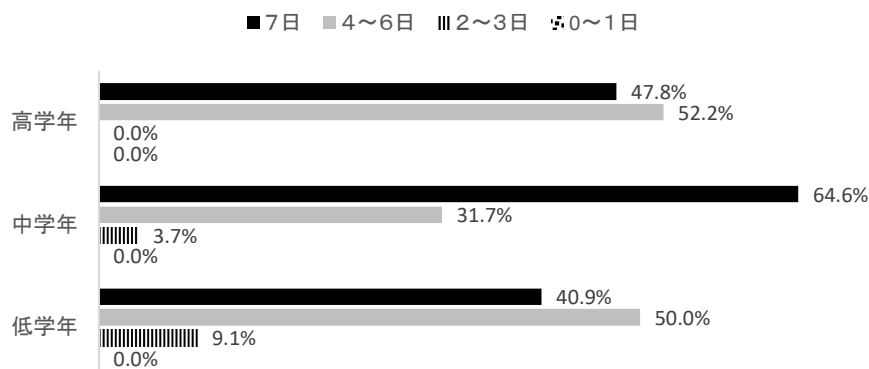
家庭学習アンケート

令和元年12月20日 発行

教務グループ

西当別小学校全児童を対象に、「家庭学習に関わるアンケート」を実施しました。
子どもたちの家庭学習の状況を知っていただき、今後の学習内容や学習の取り組みせ方の参考にさせていただきたいと思ひます。

1週間の学習日数



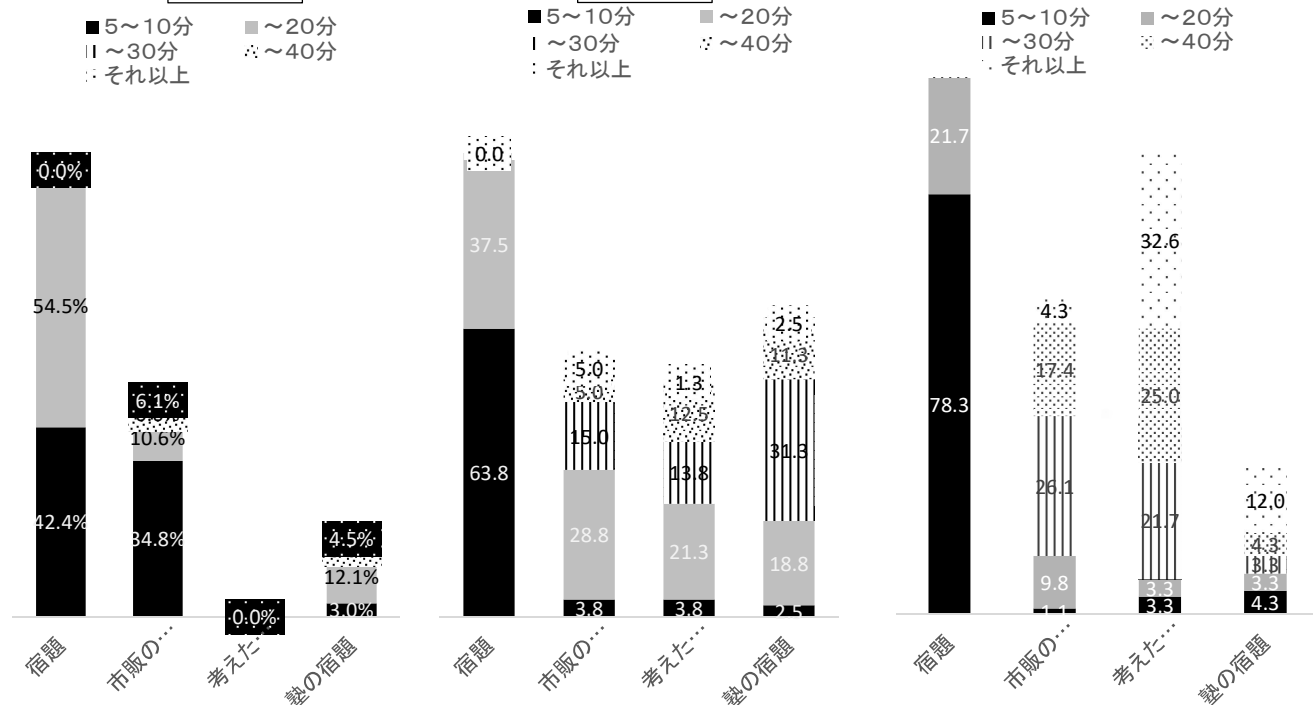
どの学年もほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいることがわかります。
家庭でも、学習に取り組む習慣づけをすることはとても大切なことですので、今後も続けて下さい。
学校では、実態に応じて家庭学習の課題を出すようにしています。出された課題については時間を決め、しっかり取り組み、必ず提出するという習慣づけが大切です。

学習内容と時間

低学年

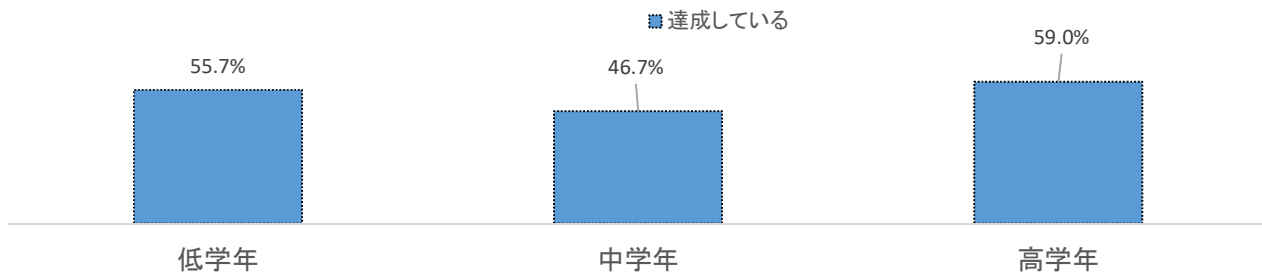
中学年

高学年



児童が様々な内容の学習に取り組んでいることが結果からも伺えます。低学年では、学校から出される課題に取り組む児童が大半ですが、学年が上がるにつれて学校の課題以外に取り組む比率が高くなっています。自学自習の習慣の確立のために、中でも「自分で考えた自主的内容」に中学年以上でより取り組むことが大切です。

学習時間の目標達成率



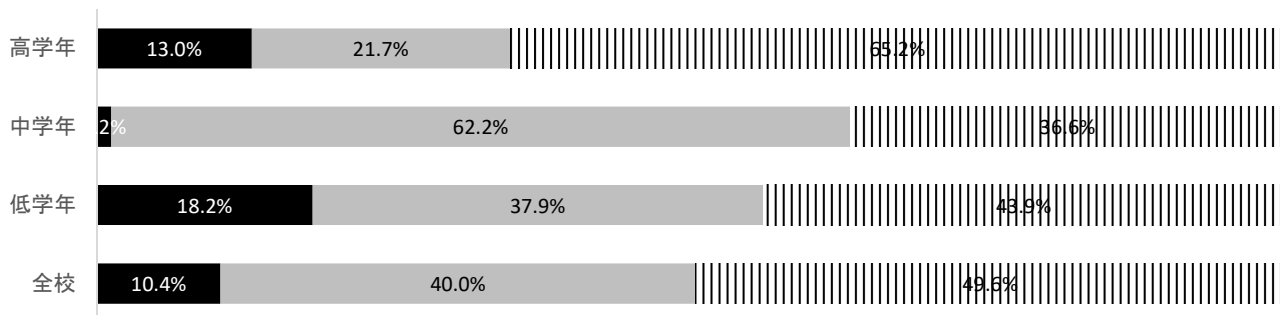
西当別小学校では、各学年の目標学習時間を「10分×学年+10分」に設定しています。

※2年生の場合⇒10分×2+10分=30分

学習内容と時間の項目でも触れましたが、毎日学習する習慣は身につけているものの、じっくりと時間をかけて学習に向き合う姿勢が弱い傾向にあります。1日の中で十分な家庭学習の時間を確保し、目標時間に見合う内容を考えられるようにし、計画的に時間を利用できるように工夫する必要があります。低学年のうちから、家庭学習が生活のリズムのなかに組み込まれ、習慣化されるよう、声かけや環境づくりが大切です。

家庭での学習の仕方

■ 家族と一緒に ■ 一人でもするが、助けてもらう ▨ ほぼ自分の力で



家庭学習の習慣づけには、やはり家族の協力は欠かすことができません。特に、低学年では、家族が寄り添いみてあげたり、安心して学習に向かうことができる環境をつくってあげたりすることが大切です。そうすることで、中学年から高学年に向かうにつれ、自分でやろうとする意欲や習慣が身につけてきます。

家族が関わることで、子どもは安心して集中して家庭学習に取り組むことができます。

グラフに見づらい部分もあると思いますが、学校のホームページに後日アップします。そちらでも、ぜひご覧になって下さい。